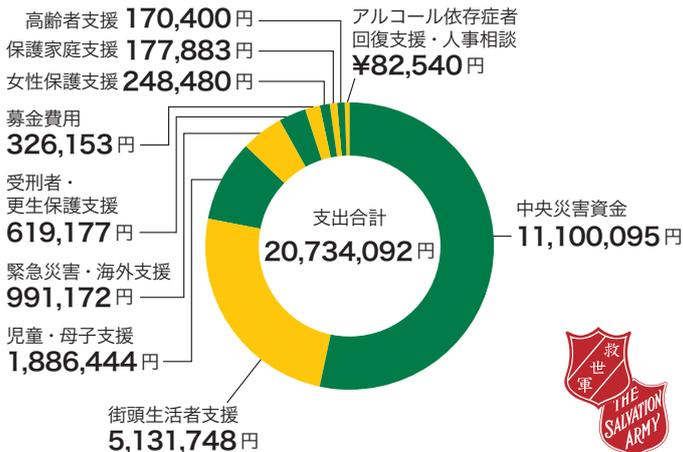


皆様のご寄付により、これらの活動が支えられていますこと、心より感謝申し上げます。

2021年度
社会鍋募金
実績報告

| | |
|---------------|-------------|
| 歳末社会鍋募金(東京地区) | 4,334,395円 |
| 通年社会鍋募金 | 13,403,707円 |
| 活動準備金より | 2,995,990円 |

合計 **20,734,092円**



2021年度の社会鍋募金による支援活動

2022年も多くの困難に遭われた方々への支援のみならず、コロナ禍により被害を受けた皆様への支援に力を注ぎました。



子ども食堂で、コロナ禍にあるご家庭を支援：東京



社会福祉協会を通して、生活困窮家庭を支援：東京



障がい者通所施設に、作業用裁断機を寄贈：福岡



寒空のもと、路上で生活されている方々に、衣料品や日用品を提供：福岡



母子生活支援施設で暮らす子どもたちに、クリスマスプレゼント：前橋



救世軍

社会鍋 2022

THE SALVATION ARMY CHRISTMAS KETTLE

イエス・キリストの言葉

愛は、すべてを完成させるきずなです。

コロサイの信徒への手紙 3章 14節

ステイホームでもその場で募金ができる

オンライン社会鍋

社会情勢を考慮し、今年度もオンラインでも社会鍋を実施いたします。右のQRコードを読み取るか、救世軍HPよりアクセスしてください。



救世軍本営

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 2-17
Tel 03-3237-0881
Fax 03-3237-3588
<https://www.salvationarmy.or.jp>



世界133の国と地域で神の愛を伝える救世軍

救世軍は、キリスト教(プロテスタント)の教会と社会福祉・医療・教育施設等を通して活動しています。創立者は、イギリスのメソジスト教会の牧師であったウィリアム・ブース。1865年、ロンドンの貧しい人々、社会から顧みられない人々を物心両面から救うためにその働きを始めました。現在は、世界133の国と地域で助けを必要としている人々のニーズに応えながら、神の愛を伝えています。



11月30日は
「社会鍋の日」

三脚に鍋をつるし、ラッパを吹きながら街頭で募金をする「社会鍋」は、歳末助け合い募金の先駆けとして知られ、俳句の季語にもなっています。一般社団法人日本記念日協会は、2015年、毎年12月に開始する募金活動をアナウンスする日として、11月30日を「社会鍋の日」と認定しました。

なぜ鍋をぶら下げているのですか？

これは、今から113年前、アメリカの救世軍で行われていたスープ壺をぶら下げた募金をするスタイルを日本風にアレンジしたものです。貧しくてお正月の準備もできない家庭に、寄せられた寄付金で食べ物を買って詰め合わせ、届けて回るためでした。その後、寄付金は、救世軍が行う様々な支援活動に使われるようになりましたが、この募金スタイルは変わることなく、今日も誰かの心と体を温めるために、街頭に立っているのです。

第6回 救世軍社会鍋 俳句コンテスト 受賞作品

最優秀賞

ボーランド

園境社会鍋

並ぶ

(田中和美様)

優秀賞

チヨコレート

貰ひに出掛けて

社会鍋

(倉山琴乃乃様)

社会鍋

風強ければ

声の張り

(水野大雅様)

第7回 救世軍社会鍋 俳句コンテストのお知らせ

皆様の作品を
募集します！

募集内容 社会鍋を題材にした未発表作品

作品数 1人2句まで

応募方法 ・応募用紙の郵送、Fax、e-mail
・救世軍HP「応募フォーム」より
※ペンネーム不可

応募先 救世軍本営

「救世軍社会鍋俳句コンテスト」係

締め切り 2023年3月31日(金) 消印有効

※お問い合わせは救世軍本営「救世軍社会鍋
俳句コンテスト係」まで。